

1. 各診療科

内 科

《概要》

【人事】

玉置俊治副院長の指導のもとに内科疾患を担当する。大野昭（部長・内分泌代謝内科）。異動は以下のとおり。矢倉宏祐医長（血液内科）2009年4月着任、梶本忠史医員（内分泌代謝内科）2010年3月離任。

【診療】

外来診療は内分泌代謝疾患を中心に月約600人を診察。入院診療は年188人であった。

〔糖尿病診療〕

糖尿病は主要な血管疾患の母地であり標準的な血糖管理・合併症の検索と血管事故予防を掲げ、医療機関連携のうえで総合ゲートキーパー機能を兼務している。CSII（持続皮下インスリン注入療法）に加えてCGM（連続糖監視）を稼動し患者さんの自己管理向上を目指している。

〔甲状腺疾患〕

専門家として矢頃綾博士を招聘し外来診療をおこなっている。悪性腫瘍の検出・重症甲状腺代謝異常の対策に実をあげつつある。

〔地域医療〕

第5次医療計画が挙げる4疾病（がん・心血管・脳血管・糖尿病）について対策整備することは当院に資するところ大である。地域の糖尿病診療を最適化し他3疾患の予防・標準治療と整合させることを推進している。泉州2次医療圏の糖尿病地域連携医療協議会（事務局和泉保健所）に参加し、小委員会委員長として糖尿病地域連携クリティカルパスの改善・普及、地域糖尿病診療の均てん化を目指している。

〔総合外来〕

予約・紹介をもたない患者さんの時間内診療に関して、内科医が分担し、江口寛教授の応援を得て診療している。

《業績》

(1) 原著、総説、著書 (2009. 4～2010. 3)

番号整理	題名	著者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	Loxoprofen,ビタミンC,パントテン酸併用が関節腱,心症状に奏効した全身性強皮症/混合性結合組織病を疑わせた1例	矢倉宏祐 森田久樹 沢井ユカ 岡崎直樹 石井崇大 加藤 聡 野中共平	日本未病システム学会雑誌	15	103-109	2009
2	未病や疾病に与えるシフトワーク(夜間勤務)の影響について	矢倉宏祐 阪上皖庸	日本未病システム学会雑誌	15	365-369	2010

(2) 学会研究会報告 (2009. 4～2010. 3)

番号整理	演題	発表者	学会・研究会名	年月日
1	主宰	大野 昭	第8回関西間脳下垂体疾患研究会	2010. 2. 6
2	グリチルリチン,サイアザイドにより偽性アルドステロン症に至った1例	崔 静姫 梶本忠史 大野 昭 玉置俊治	第189回日本内科学会近畿地方会	2009. 9. 26
3	著明な胸腹水貯留とCA125高値を呈したバセドウ病の1例	大野 昭 崔 静姫 久保田康彦 梶本忠史 玉置俊治	第190回日本内科学会近畿地方会	2009. 12. 19
4	骨髄幹細胞、腫瘍増殖と免疫系の関連について(第2報)	矢倉宏祐	日本未病システム学会第2回近畿地方会	2009. 8. 22

(3) 学術講演 (2009. 4～2010. 3)

番号整理	演題	発表者	発表場所及び対象	年月日
1	共に支える糖尿病診療	大野 昭	泉州圏域糖尿病地域連携クリティカルパス研修会	2010. 3. 8

(4) 院内研究活動 (2009. 4～2010. 3)

番号整理	演題	発表者	年月日
1	生活習慣病教室 高血圧症について	大野 昭	2009. 4. 9
2	生活習慣病教室 運動を楽しく安全に	大野 昭	2009. 5. 14
3	生活習慣病教室 よい睡眠とは?	大野 昭	2009. 6. 11
4	生活習慣病教室 がんの考え方、とらえかた	大野 昭	2009. 9. 10
5	生活習慣病教室 生活習慣病とインフルエンザ	大野 昭	2009. 10. 8
6	生活習慣病教室 糖尿病と腎臓病の話	大野 昭	2009. 11. 12
7	生活習慣病教室 生活習慣病とインフルエンザ②	大野 昭	2009. 12. 10
8	生活習慣病教室 糖尿病と膵臓がんについて	大野 昭	2010. 2. 4
9	生活習慣病教室 生活習慣病と大腸がん	大野 昭	2010. 3. 11